

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【ワークショップと懇談会の集い結果報告（2022年12月発行）】

日時：2022年11月12日（土）14:00～16:00
場所：広島県庁 本館6階 講堂・Zoomオンライン
参加者：現地参加46名、WEB参加17名

ワークショップと懇談会の集いとは？

これまで被服支廠の利活用を検討してきた皆さまで集まり、検討状況と思いを共有するために実施しました！

旧広島陸軍被服支廠の活用の検討に向けて、これまで4回のワークショップを行ってきました。また、活用の方向性を検討するため、有識者等で構成する「懇談会」での検討も進んでいます。

2つの検討が進む中、ワークショップのメンバーと懇談会の委員で検討状況を共有し、メンバー間の交流を図る場として「ワークショップと懇談会の集い」を開催しました。



▲現地会場の様子

こんな内容でした！

これまでの検討状況の報告やワークショップメンバーによるプレゼンテーション、意見交換を行いました！

ワークショップと懇談会の集いは現地・オンラインを併用し、懇談会とワークショップでの検討状況の報告や、ワークショップメンバー代表者によるワークショップでの学びや意見交換を通じて考えた、自分自身でできそうなことについてプレゼンテーションしていただきました。

その後、ワークショップメンバー以外の県民の方々も参加し、これまでの検討内容やワークショップメンバーのプレゼンテーション、個々の被服支廠に対する思いなどについて、意見交換を行いました。

また、会場後方で模造紙にポストイットを貼って意見を述べることができる場も設けました。

有志で作成いただいた旧広島陸軍被服支廠の映像作品を紹介させていただきました！

被服支廠の建物内部に入ることができない中、被服支廠の魅力を伝えたいという思いから、(株)ニッショウプロ様に被服支廠の映像作品を無償で作成・ご提供いただいたことに対し、県から感謝状を贈呈し、映像をご紹介させていただきました。



▲(株)ニッショウプロ様に作成いただいた旧広島陸軍被服支廠の動画の様子

ワークショップメンバーなどの主な意見

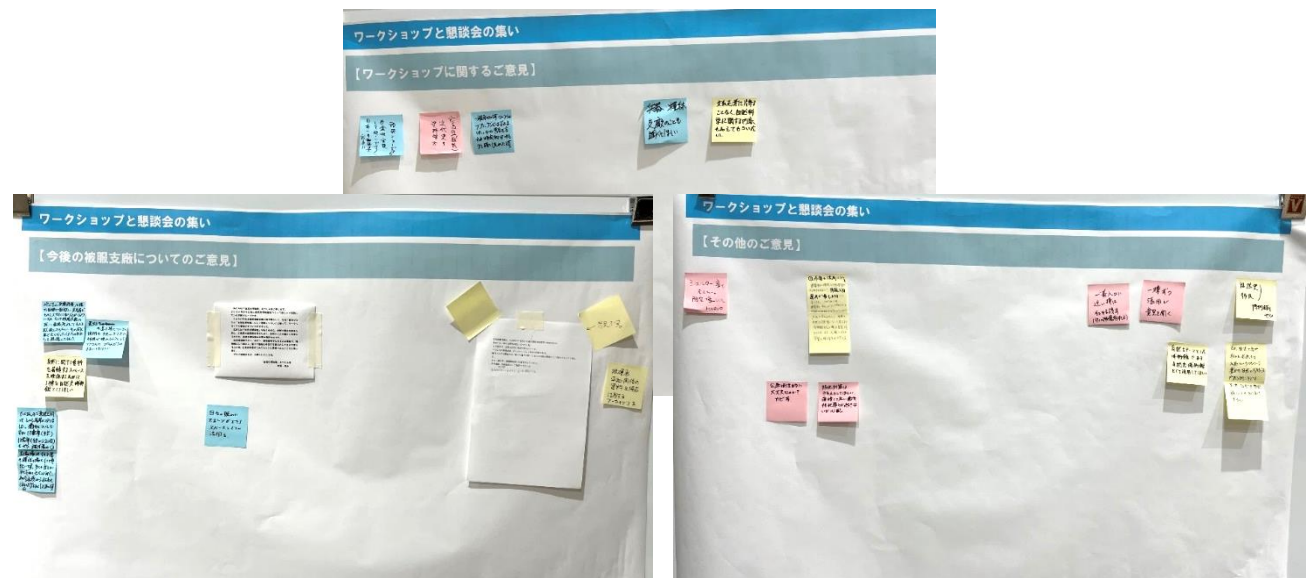
- ・ 歴史的価値を活かしながら、建物維持に必要な資金を得ることのできる持続可能な活用を進めることで、広島に元気を与える場とする必要があるのではないか。
- ・ 戦前、戦後の歴史、自然史、移民の歴史、原爆文学や資料の収集・貸出など、広島の歴史や平和の発信の場として活用する中で、将来的には世界遺産を目指してはどうか。
- ・ ワークショップで提案された宿泊・集客施設等の整備には、民間との協働による資本投入が必要ではないか。
- ・ 建物を知ることや興味を持ってもらうため、県民が「申請すれば見学し、使うことができる」ということや、県民参加型の寄付の仕組みを作ってはどうか。
- ・ 地域住民や皆実町商店街と共に、周辺の活性化やまちづくりに繋がる仕組みを考えてはどうか。
- ・ 1棟は建物の過去や魅力をそのまま伝える現状保存として、その他を美術館、ホテル、オフィスやアトリエなどに活用してはどうか。
- ・ 瀬戸内海に点在する旧軍の遺構を結ぶツーリズム商品を開発してはどうか。



▲ワークショップメンバーによる発表の様子



▲意見交換の様子



▲会場後方の意見共有のシート